

2018年度第5回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 再度山特別

再度山（ふたたびさん）は六甲山地西部、神戸市中央区と北区の境に位置する山。名は弘法大師が唐に仏教を学びに渡る際、航海の安全と学問の成就を祈ってこの山に登り、無事帰国できたことに感謝するため、再びこの山に登ったという故事に由来する。また、頂上付近に整備されている再度公園は、ツツジや紅葉の名所として知られる。

○ 御影ステークス

御影（みかげ）は、神戸市東灘区の地名。名は、「沢の井」という泉に神功皇后が御姿を映して化粧をしたことに由来し、六甲山地から切り出した花崗岩をこの地から出荷していたことから、花崗岩の石材は御影石とも呼ばれる。六甲山側は関西地区有数の高級住宅街として知られ、海岸地域は酒造地となっている。

○ チャレンジカップ（GⅢ）

本競走は、昭和25年に創設された重賞競走。当初は2400mで実施されていたが、27年に2000mに変更、さらに平成24年より実施時期を9月から12月に移し、距離も1800mに変更された。昭和28年以降、『朝日チャレンジカップ』として実施されてきたが、平成26年より再び『チャレンジカップ』に名を戻して実施されている。

<第2日>

○ 万両賞

万両（まんりょう）は、ヤブコウジ科の常緑小低木。葉は長楕円形で厚く光沢があり、夏に白色の小花を付ける。果実は球形で、10月頃から2月頃まで赤い実を保つことから、正月用の縁起木として重宝される。花言葉は「寿（ことほ）ぎ」「富」。

○ 姫路特別

姫路（ひめじ）は、兵庫県南西部の都市。播磨平野の中央に位置して播磨灘に臨む。古くから山陽道と山陰道を結ぶ陸海交通の要地として栄えた。市内にある国宝姫路城は、シラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」の愛称で親しまれており、平成5年に法隆寺とともに日本で初めてユネスコ世界文化遺産に登録された。

なお、同市にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ姫路がある。

○ 逆瀬川ステーキス

逆瀬川（さかせがわ）は、武庫川水系の支流で、六甲山系の船坂峠東方に源を発し、兵庫県宝塚市を流れる川。

<第3日>

○ エリカ賞

エリカ（Erica）は、ツツジ科エリカ属の植物の総称。常緑の低木で、南アフリカを中心に分布し、世界に 700 種類以上の種があると言われる。葉は小形で細く、スギの葉状で、色は淡紅色や黄色、緑など様々である。花言葉は「博愛」「孤独」。

○ 境港特別

境港（さかいみなと）は、鳥取県西部にある市。市名の由来である境港は、国内最大級の砂州である弓ヶ浜半島の北端に位置し、日本有数の漁獲高を誇る良港。紅ズワイガニをはじめとして、マグロ・アジ・サバなどが水揚げされる。また、漫画家水木しげるの出身地であることから、「鬼太郎に逢える町」としても有名。

○ リゲルステーキス

リゲル（Rigel）は、オリオン座のベータ星。表面温度は約 12,000℃、直径は太陽の約 70 倍の青色超巨星。カペラ・アルデバラン・シリウス・プロキオン・ポルックスと共に「冬のダイヤモンド」を構成する。名は、アラビア語で「巨人の左足」を意味する「リジル・アル・ジャウザ（Rijil al Jauzah）」に由来する。

<第4日>

○ オリオンステーキス

オリオン（Orion）は、南天の赤道にある冬を代表する星座。中央に並ぶ三つ星がトレードマークで、大きく、明るい星が多いことから容易に見つけることができる。星座を形成するベテルギウスとリゲルはともに一等星。名は、ギリシャ神話に登場する巨人に由来する。

○ 堺ステーキス

堺（さかい）は、大阪府南部にある政令指定都市。摂津・河内・和泉の 3 国の境に位置していたことから「さかい」と呼ばれるようになった。「百舌鳥（もず）古墳群」など古代の史跡や、歌人と謝野晶子の出身地としても有名。

○ 農林水産省賞典阪神ジュベナイルフィリーズ（G I）

本競走は、昭和 24 年に創設され、平成 2 年まで『阪神 3 歳ステークス』の名称で実施されていた重賞競走。当初は 1200m で行われていたが、昭和 35 年に 1400m に延伸され、37 年以降は現行の 1600m で実施されている。平成 3 年には、牝馬限定競走となり、2 歳（旧表記 3 歳）牝馬のチャンピオン決定戦となった。また、13 年からは『阪神ジュベナイルフィリーズ』と名称が変更された。

ジュベナイル（Juvenile）は、「少年」「少女」を意味する英語。フィリー（Filly）は、牝馬、特に 4 歳までの牝馬のことを指す。また、この言葉には「社交界にデビューする少女（女性）」という意味も含まれている。

○ 高砂特別

高砂（たかさご）は、兵庫県南部の市。加古川の河口にあり、播磨灘に面する。化学製品・食品・鉄鋼などの製造業が盛ん。港と松の繁る景勝海岸が有名で、謡曲『高砂』に「高砂やこの浦舟に帆を上げて……」と謡われる「相生の松」が高砂神社にある。

<第 5 日>

○ さざんか賞

さざんかは、ツバキ科の常緑小高木。九州・四国の山地に自生する。晩秋に白い花をつけ、散るときは花びらがバラバラに落ちる。園芸・観賞用としても栽培され、赤花・八重咲きなどの品種がある。花言葉は「ひたむきな愛」「謙遜」。

○ 赤穂特別

赤穂（あこう）は、兵庫県南西端にある市。市内には大石神社・花岳寺・大石良雄宅跡など『忠臣蔵』で知られる赤穂義士の史跡が多く残る。また、古くから塩田が栄えており、生産される塩は「赤穂の塩」として全国的に知られている。

○ タンザナイトステークス

タンザナイト（Tanzanite）は、青や青紫色を有する多色性の宝石で、一般的にタンザニアで採掘されたゾイサイト（灰簾石）を指す。12 月の誕生石の一つ。

<第6日>

○ 蛍池特別

蛍池（ほたるがいけ）は、大阪府豊中市にある地名。明治43年、箕面有馬電気鉄道（現阪急電鉄）が新駅を開業する際、駅の東側にあった「蛍ヶ池」を採用したことに由来する。蛍池駅は阪急宝塚本線と大阪モノレール線が接続しており、近隣の大阪国際空港へのアクセスルートを構成している。

○ 元町ステークス

元町（もとまち）は、神戸市中央区にある地名。明治時代以降、「ハイカラ」や「ハイセンス」の代名詞としてその名を馳せ、商業地域として発展してきた。全長1.2kmの神戸元町商店街には、約300の商店が軒を連ね、「元町らしさ」を意識したまちづくりと景観維持により、賑わいの中にも落ち着いた雰囲気が漂っている。

なお、同地にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ神戸がある。

○ 朝日杯フューチュリティステークス（GI）

本競走は、2歳（旧表記3歳）馬によるチャンピオン決定戦として昭和24年に創設された『朝日盃3歳ステークス』を前身とする重賞競走。平成3年に牡・せん馬限定となったが、16年には牡・牝馬限定となった。実施距離は、創設時の1100mから昭和34年に1200mに延伸され、37年以降は現行の1600mに定着している。また、平成26年より中山競馬場から阪神競馬場に舞台を移して実施されている。

フューチュリティ（Futurity）は、「未来」「将来」を意味する英語。

朝日新聞社は、東京など全国に4ヶ所の本社がある新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 妙見山特別

妙見山（みょうけんさん）は、兵庫県川西市・大阪府豊能郡豊能町・能勢町にまたがる山。能勢電鉄、妙見の森ケーブルリフトを乗り継いだ山頂近くには、関西における日蓮宗の総本山「能勢妙見山」があり、多くの参詣者が訪れる。

<第7日>

○ 江坂特別

江坂（えさか）は、大阪府吹田市南西部の地名。かつては「榎坂」と表記されていた。近年は商工業地区としても発展しており、北には千里ニュータウンや万博記念公園がある。

○ 摩耶ステーキス

摩耶（まや）は、兵庫県神戸市灘区と北区の境にある六甲山地の山。山頂付近にある展望台「掬星台（きくせいだい）」からは、神戸港をはじめ大阪湾を一望できる。夜景はとりわけ美しく、函館山から望む函館市、稲佐山から望む長崎市と並び日本三大夜景と称される。また、中腹には摩耶夫人（釈迦の母）を祀る切利（とうり）天上寺がある。

○ 阪神カップ（GⅡ）

本競走は、平成 18 年に創設された重賞競走。芝 1400m で実施される。中央競馬では、段階的に短距離競走体系の整備が行われてきており、同体系のさらなる充実を図るため、スプリンターとマイラー双方が一堂に会する競走として、本競走が実施されている。

<第 8 日>

○ 千両賞

千両（せんりょう）は、暖地の山林に自生するセンリョウ科の常緑小低木。葉は対生し、長楕円形で粗い鋸歯がある。冬になると、枝頂に小球形の実が固まって赤熟する。鉢植えや正月用の生け花などに用いられる。花言葉は「裕福」「恵まれた才能」。

○ クリスマスキャロル賞

クリスマスキャロルは、クリスマスの時期に歌われる賛美歌のこと。「きよしこの夜」「もろびとこぞりて」などが有名。

○ サンタクロースステーキス

サンタクロース（Santa Claus）は、クリスマスの前夜、子供達にプレゼントを届けるという伝説上の人物。名は、小アジア（トルコ）のリュキアの首都ミュラの司教聖ニコラウズの名がなまってアメリカに伝えられたことに由来する。ミュラでは祝日の前日に贈り物を交換する習慣があり、これがニューヨークに移住したオランダ系清教徒によって伝えられ、クリスマスプレゼントの習慣となった。

○ ギャラクシーステークス

ギャラクシー（Galaxy）は、銀河、天の川を意味する英語。また、天文学においては、天の川に象徴される我々の銀河系と同じ形態の恒星の大集団の意味も持ち、一般に直径数千光年から数十万光年の大きさの空間内に、100 万から 1 兆にも及ぶ恒星と星間物質が密集しているものを指す。

＜第9日＞

○ 春待月賞

春待月（はるまちづき）は、12月の異称。本競走は、来たる春への希望を込めて名付けられた。

○ フォーチュンカップ

フォーチュン（Fortune）は、「幸運」「富」を意味する英語。

○ ベテルギウスステークス

ベテルギウス（Betelgeuse）は、オリオン座のアルファ星。表面温度は約3,500℃、直径は太陽の約1,000倍の赤色超巨星。プロキオン、シリウスとともに「冬の大三角形」を構成する。

○ 2018 ファイナルステークス

ファイナル（Final）は、「最終の」「最後の勝負」を意味する英語。本競走は、今年度の中央競馬を締め括る競走として実施される。